

巻頭言 動物とのつきあい 原田信男…………… 1

序章 野生から家畜へ 松井章…………… 9

動物と人間との距離——家畜文化と日本人的特質 日本人と家畜  
動物考古学からの野生種・家畜種の判別 本書の構成

## 第I部 家畜化の歴史

第1章 「家畜」と「家畜化」——行きつ戻りつ家畜化された

野鶏と鶏の事例から考える 秋篠宮文仁…………… 18

はじめに 家畜とよばれる動物たち 家畜化と品種化

野鶏から鶏へ 家畜化および品種化モデルの提案 おわりに

第2章 古代日本の動物利用 馬場基…………… 42

はじめに 史料からみた日本古代社会と動物飼育技術

動物利用をめぐる 肉食をめぐる おわりに

第3章 同位体分析からみた家畜化と日本人の食

——自己家畜化の視点から 米田 穰…………… 64

生態学でヒトの特徴を考える ヒトの進化と拡散

ヒトの表現型と文化の多様性 過去の食生活を復元する方法

骨の同位体から食物を復元する

日本列島の多様な環境と文化の多様性 知恵の賜物「縄文カレンダー」

縄文時代の食の多様性 弥生時代人の食生態

縄文のイヌとイノシシ、弥生のブタ カラフトブタにみる「行きつ戻りつ」

長江の初期農耕民のブタ 現代日本人の同位体生態学

## 第II部 家畜利用の多様性

第1章 人類による動物利用の諸相

——モンsoonアジアのブタ・人関係の事例 池谷和信…………… 88

はじめに 人類の動物利用の歴史

モンソーンアジアのブタ飼育と利用の諸相  
動物利用の縮図——ブタ・人間係の地域性  
世界の動物利用のなかでのモンソーンアジア

第2章 家畜化の条件 小宮輝之……

112

はじめに ノウサギとカイウサギ ガチヨウになったガン  
カモシカとヤギ、ヒツジ 復元オーロックスと復元ターバン  
家畜家禽は動物界の例外

第3章 乳利用のさまざまな形 石井智美……

130

はじめに 遊牧生活における家畜の乳と加工  
モンゴルの乳利用——廃棄成分のない加工 意外な家畜の乳利用  
キルギスにおける乳利用 遊牧民の末裔の国カザフスタンの乳利用  
ロシア・バシキール共和国、民族飲料クミスの過去から現在  
おわりに

第Ⅲ部 人間と動物の現在

第1章 近大マゲロの誕生 宮下盛……

152

はじめに なぜ近畿大学だけがクロマゲロの完全養殖を成しえたのか  
なぜクロマゲロなのか クロマゲロの完全養殖達成——星霜三二年  
完全養殖産業化への現況 養殖業の課題と展望

第2章 在来家畜の再発見

——沖繩を中心に琉球弧の事例から 高田勝……

172

はじめに 琉球弧の在来家畜と役割  
現在の琉球弧の在来家畜 在来家畜の特徴 在来家畜の意義  
沖繩の畜産業の変容 沖繩における層畜・加工の変容  
在来家畜の利用と保全 おわりに

総括

人間と家畜——動物考古学の立場から 松井章……

195

はじめに 家畜化の条件、家畜になれなかった条件  
遺跡資料にみる家畜 おわりに

## 総合討論

221

- 卵の利用 シンボルとしての鶏 白のイメージ——動物の色
- 日本の猪と豚(飼育) 品種改良 豚の遊牧
- 家畜化——動物からすり寄った? 信仰と家畜 家畜は食用起源か?
- 家畜化の対象・条件 再野生化——行きつ戻りつ 乳と肉の利用
- アイデンティティと豚スウィッチ 在来家畜の維持 養殖の光と影
- 畜産と養殖——エネルギー効率と倫理の問題 食べ物と人間の形質
- 自己家畜化の問題 家畜化のセンターと吹きだまりの日本
- ペットと家畜 人間にとって家畜とは何か

「野生から家畜へ」を考える文献……………279

あとがき 原田信男……………284

執筆者紹介……………293

装幀 市川美野里